二輪車をご愛用のお客様へ

点検整備で安全・快適な状態を長く維持できます

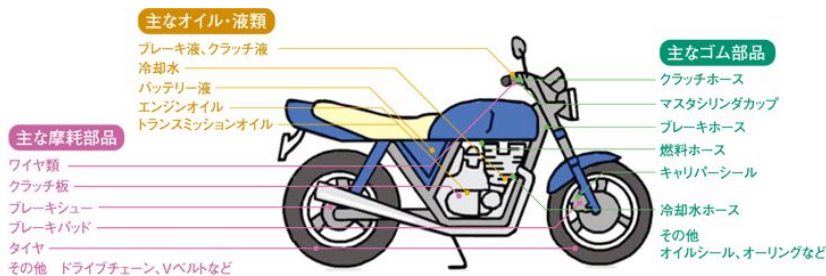
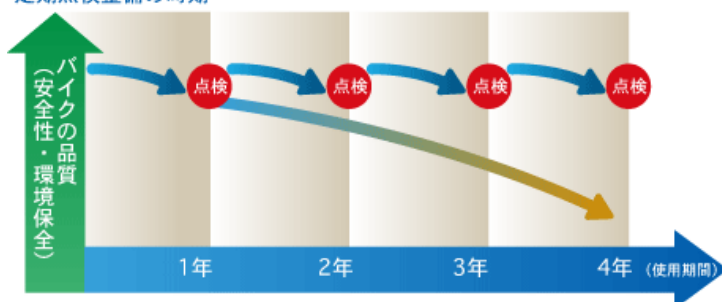
一般社団法人 日本自動車工業会　川崎重工業㈱、スズキ㈱、本田技研工業㈱、ヤマハ発動機㈱

点検整備はお客様の責任です。

二輪車を、安心してお乗りいただくため、定期的な点検整備はかかせません。
多くの部品の集まりである車は、走るにつれて、そして時間の経過とともに、部品の劣化や摩耗が進みます。 事故の未然防止、環境影響の低減を図るために、法で(または法に準じて)定められた点検には、「日常点検」と「定期点検整備」とがあります。
「日常点検」は、安全快適にご使用いただくために、ガソリン給油時・洗車時・長距離走行前等に、お客様ご自身で、実施いただく点検です。
※日常点検の方法は、お手元の取扱説明書、またはメンテナンスノートを参照ください。
「定期点検整備」は、車両の状態をチェックするとともに、今後どう変わっていくかも予測して、必要な整備を行い、大きなトラブルや余分な出費を防ぎ、次の点検までの安心を提供します。

「定期点検整備」は、お買い求めの二輪車販売店に、ご用命下さい。

一般社団法人 日本自動車工業会　HP チェック用　http://www.jama.or.jp/user/mainte/b.html

印刷用　http://www.jama.or.jp/user/mainte/pdf/mente_mc.pdf

ご参考　(社)日本自動車整備振興会連合会　「故障予防の為に、定期的な部品交換を」チラシ pdf

http://www4.jaspa.or.jp/jaspahp/user/driver/img/replacement_poster2.pdf

大切です!バイクの定期点検整備

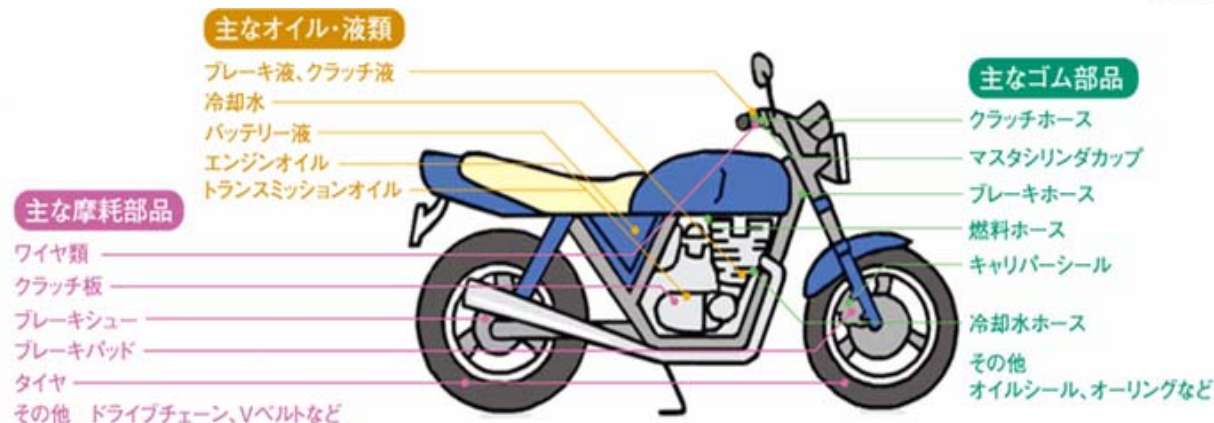
点検整備は、車の大切な健康管理！

「定期点検整備」は、部品の劣化や摩耗といった状態をチェックするとともに、今後どう変わっていくかも予測して必要な整備を行います。 これにより、大きなトラブルや余分な出費を防ぎ、次の点検までの安心を提供します。

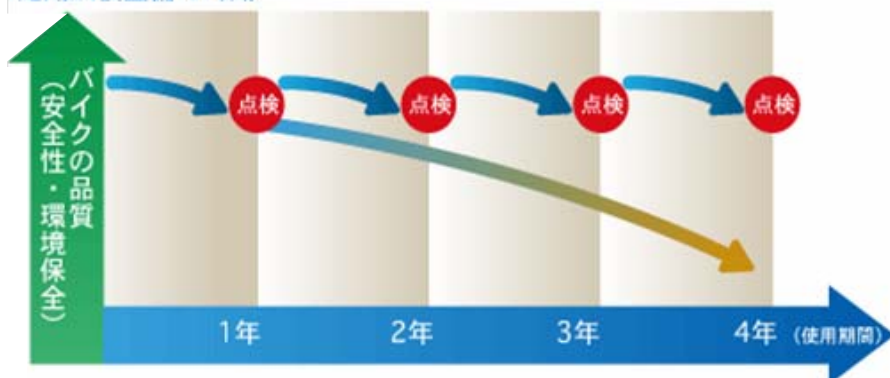
安全確保と環境への配慮から、定期点検は、お客様の義務となっています。ご自分で点検整備できない場合は、お買い求めの二輪販売店に、ご用命ください。

※「車検（車の検査）」は、その時点で国の基準（保安基準）に適合しているかどうかを、テスターや目視によってチェックするもので、車検に合格したからといって、安心して乗り続けられるものではありません。
（250cc以下のバイクには、車検はございません）

バイクには定期的に交換が必要な部品があります

バイクの部品には、使っているうちに摩耗したり、消耗したりするものがあります。　ゴム部品などは経年変化で劣化してしまうため、一定の期間が過ぎたものは、交換する必要があります。
部品の交換時期は、メンテナンスノートを参考にしてください。

点検整備で安全・快適な状態を長く維持できます

経年使用によってだんだん低下してくるバイクの性能も、定期的なメンテナンスを行うことによって、良好なコンディションを維持することができます。

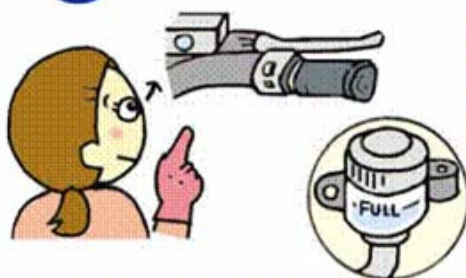
http://www.jama.or.jp/

バイクは日常点検が大切です！

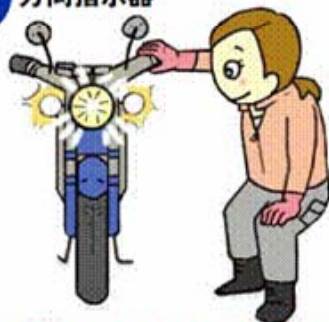
バイクの乗り方は人によってさまざまです。
毎日乗っている人も、たまにしか乗らない人も、日常的な安全点検が大切です。
お出かけの前に、給油や洗車のついでに、愛車の状態をチェックしてください。

チェックしてみよう 10の安全点検

□に✓を記入しながら、
実際に安全点検をしてみましょう。

□ チェック1 ブレーキ（前後）レバー（ペダル）の遊び、きき具合。

□ チェック2 ブレーキ液の量（前後）

□ チェック3 エンジンオイルの量

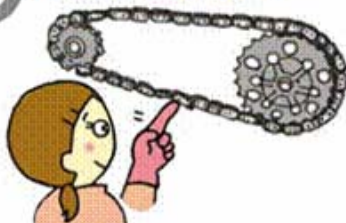
□ チェック4 灯火装置および方向指示器

□ チェック5 タイヤの空気圧 亀裂、損傷、異状摩耗、溝の深さ。

□ チェック6 冷却水の量

□ チェック7 エンジンのかかり具合・異音 バッテリー液の量

□ チェック8 低速・加速の状態

□ チェック9 運行において異状が認められた箇所

□ チェック10 チェーンの緩み たるみすぎ、はりすぎ

日常点検は法律で定められており、ユーザー自身に保守管理する責任があります。1～9は法律に規定された点検項目。10はメーカーが指定する点検項目です。点検整備に関する詳しい情報は、バイクに付属するメンテナンスノートをご覧ください。

⚠ 注意：バイクに異状が認められたときは必ず整備工場で点検整備を受けてください。
適切な整備がされないと、思わぬ事故につながります。

JAMA 一般社団法人 日本自動車工業会
Japan Automobile Manufacturers Association, Inc.
http://www.jama.or.jp/